

■福岡市スタートアップエコシステム連携基盤構築調査業務委託 質問及び回答項目一覧

該当資料	頁	質問事項	質問内容	回答
募集要項	4	8 募集要項等の配布・質問の受付	質問書への回答は、全提案者に同じ内容を公開するのか、それとも個別回答なのか、また回答内容に矛盾や誤りがあった場合の取扱いをお教えください。	質問及び回答については、募集要項に記載のとおり福岡市ホームページに掲載し、全提案者に対して同一内容を公開します。(本紙のとおり) なお、回答内容の修正等が必要となった場合は、必要に応じて福岡市ホームページで周知します。
仕様書	1	2.目的	「2. 目的」及び「4. 業務内容(1)」等に記載されている「支援拠点(インキュベーション施設、オープンイノベーション拠点、金融機関、支援機関、民間コミュニティ等)」について質問です。 本業務における調査・合意形成の対象として、福岡市様が特に想定されている具体的な施設・機関等のリスト(または主要な対象候補)がございましたら、提案の解像度を高めるため、可能な範囲でご教示いただけますでしょうか。	本業務において対象となる支援拠点について、福岡市が特定の施設・機関等を示す予定はありません。 調査対象とする支援拠点については、仕様書に記載するインキュベーション施設、オープンイノベーション拠点、金融機関、支援機関、民間コミュニティ等を例示として、福岡市のスタートアップエコシステムに関わる主体を対象に、本業務の目的及び委託上限額を踏まえ、調査対象の範囲、対象者の選定及びヒアリング件数等を提案者において設定し、提案してください。 なお、契約締結後、業務遂行に必要な範囲で市から情報提供や調整支援を行う場合があります。
仕様書	1	2.目的	仕様書では「支援拠点」として「インキュベーション施設やオープンイノベーション拠点、金融機関、支援機関、民間コミュニティ」と記載されていますが、具体的にはどの組織・施設を対象とするのか、リストを提供していただけますか？また、福岡市内のスタートアップ支援に関わる全ての組織を対象とするのか、それとも特定の地域(天神・大名エリア等)に限定するのか、調査対象の範囲を明確に伺いたいのです。	本業務における調査対象は、福岡市内の支援拠点を基本とし、天神・大名エリアに限定するものではありません。 一方で、市内の全ての施設・機関を網羅することを必須としているものではなく、福岡市が特定の施設・機関等のリストを示す予定もありません。 本業務の目的及び委託上限額を踏まえ、対象の選定方針、調査範囲、対象者及びヒアリング件数を提案してください。 なお、契約締結後、業務遂行に必要な範囲で市から情報提供や調整支援を行う場合があります。
仕様書	1	2.目的	仕様書(4 業務内容)では「投資家、事業会社等に対して提供すべき価値を整理する」とありますが、調査・発信対象となる投資家・事業会社の地域的範囲(福岡市内、九州内、全国、海外など)と、具体的なターゲット像(VC、CVC、大手企業など)をお教えください。	地域的範囲や具体的なターゲット像は特に限定していません。本業務の目的達成に向けて効果的と考える対象及び手法について提案してください。
仕様書	2	3. 履行期間	契約締結から2027年3月31日までの約8ヶ月間で、各成果物(現状調査報告書、戦略書、発信実施など)の想定納期をお教えください。	実施スケジュールについて特段の指定はありません。履行期間内で本業務の目的達成に資する計画を提案してください。
仕様書	2	4. 業務内容 (1) 支援拠点等の現状調査及び課題整理(ヒアリング等の実施手法)	支援拠点等へのヒアリング調査の実施にあたり、貴市から対象拠点に対する紹介・協力依頼(依頼文書の発出、事前のご案内等)のご協力をいただくことは可能でしょうか。可能な場合、その範囲についてあわせてご教示ください。	ヒアリングは受託者が主体となって実施することを想定しています。 ただし、業務遂行上必要と認められる場合は、市が対象者への周知や紹介等の調整支援を行うことがあります。
仕様書	2	4. 業務内容 (1) 支援拠点等の現状調査及び課題整理(ヒアリング等の実施手法)	仕様書でヒアリングを実施することとなっていますが、支援拠点の経営層・担当者、起業家、投資家などへのアクセスについて、福岡市から紹介・協力をいただけるのか、それとも提案者が独自にアクセスするのか、お教えください。	ヒアリングは受託者が主体となって実施することを想定しています。 ただし、業務遂行上必要と認められる場合は、市が対象者への周知や紹介等の調整支援を行うことがあります。
仕様書	2	4. 業務内容 (1) 支援拠点等の現状調査及び課題整理(ヒアリング等の実施手法)	支援拠点や起業家へのヒアリング実施時に、福岡市の職員に同席していただくことは可能でしょうか？また、ヒアリング結果の共有方法をお教えください。	ヒアリングは受託者主体で実施することを基本としますが、業務上の必要性、ヒアリング対象者の意向などから、市が必要と認める場合には、市職員が同席することがあります。 また、ヒアリング結果の共有方法については指定していませんが、例えばヒアリング記録、調査結果報告書、分析資料、報告会等の方法が考えられます。本業務の目的や実施内容を踏まえ、効果的な共有方法を提案してください。
仕様書	2	4. 業務内容 (1) 支援拠点等の現状調査及び課題整理(ヒアリング等の実施手法)	ヒアリング対象者の個人情報(氏名、連絡先、企業情報など)の取扱いについて、福岡市個人情報保護条例の適用範囲、同意取得の方法、データ保管・廃棄方法をお教えください。	ヒアリング対象者の個人情報の取扱いについては、個人情報の保護に関する法律、福岡市個人情報の保護に関する法律施行条例その他の関係法令並びに契約書及び契約書に添付する個人情報・情報資産取扱特記事項等に基づき、適切に取り扱う必要があります。 ヒアリングの実施にあたっては、調査目的、情報の利用範囲、記録方法及び市への共有方法等を対象者に説明し、ヒアリングへの協力や録音等について必要な同意を取得してください。 データの保管、廃棄方法等の具体的な取扱い、は、契約条件に従うものとし、詳細は契約締結後に協議します。

仕様書	2	4. 業務内容 (1) 支援拠点等の現状調査及び課題整理(ヒアリング等の実施手法)	ヒアリング対象となる「起業家・スタートアップ」の定義(例:創業予定者、創業1年以内、成長段階別など)と、調査対象とする企業数・業種の想定をお教えください。また、既存の福岡市内スタートアップのリストやデータベースがあれば、提供していただけますか？	対象となる起業家・スタートアップの範囲及び調査対象数について、現時点で具体的な条件は定めていません。本業務の目的達成に必要なと考える対象範囲及び調査手法について提案してください。また、福岡市内スタートアップに関する情報については、契約締結後に業務遂行上必要な範囲で情報提供や調整支援を行う場合がありますが、提案にあたっては特定のリストやデータベースの提供を前提とせずに提案してください。
仕様書	2	4. 業務内容 (3) 拠点横断的な共通ビジョンの構築	仕様書(4業務内容の3)で「共通ビジョン」の構築を求めています。これは福岡市スタートアップエコシステムの『ミッション・ビジョン・バリュー』のような経営理念的なものか、それとも『支援拠点が連携して実現する具体的な目標』なのか、想定される内容・レベルをお教えください。	共通ビジョンの内容や表現方法について特定の形式は定めていません。仕様書に記載の趣旨を踏まえ、支援拠点が一体となって機能するための考え方や方向性について、提案者の創意工夫による提案を求めます。
仕様書	2	4. 業務内容 (4) 連携促進及び合意形成	仕様書(4業務内容の4)で「具体的な連携施策のアイデアを導き出す」とありますが、想定される連携施策の例(例:情報共有プラットフォーム、合同イベント、人材交流、資金仲介など)、実装レベル(構想段階か、実行計画段階か)をお教えください。	具体的な施策内容や実装レベルについて、市としてあらかじめ定めているものではありません。本業務の目的達成に資すると思われる施策について提案してください。
仕様書	2	4. 業務内容 (4) 連携促進及び合意形成	仕様書で「福岡市及びFukuoka Growth Nextが福岡市のスタートアップエコシステムにおいて果たすべき役割について言及すること」と記載されていますが、現時点での福岡市・Fukuoka Growth Nextの想定される役割や課題についての見解をお教えください。	福岡市及びFukuoka Growth Next が果たすべき役割については、本業務における調査・分析を通じて整理いただくことを期待しており、現時点で固定的な役割を定めているものではありません。
仕様書	2	4. 業務内容 (5) エコシステムの価値発信方策の策定	履行期間内に実施する発信施策(イベント開催、制作物等)に係る会場費・制作費等の直接経費は、委託上限額(20,000千円)に含まれる想定でしょうか。また、実施規模(参加者数等)について貴市が想定される水準があればご教示ください。	本業務の実施に必要な経費は、原則として委託上限額の範囲内で見込んでください。なお、発信施策の内容や規模については特定の水準を定めておらず、仕様書及び募集要項の趣旨を踏まえた提案者の創意工夫による提案を求めます。
仕様書	2	4. 業務内容 (5) エコシステムの価値発信方策の策定	仕様書(4業務内容の5)で「コミュニケーション戦略を策定する」とありますが、想定される発信媒体(WEB、SNS、PR、イベント、メディア掲載など)と、発信戦略の策定に留まるのか、実際の発信・実行まで含むのか、また発信に関わる予算配分をお教えください。	戦略の策定に留まる提案、具体的な発信施策まで実施する提案のいずれも可能ですが、本業務の目的達成に向けて最も効果的と考えられる内容を提案してください。なお、発信に関する予算配分についても指定はありませんので、委託上限額の範囲内で提案してください。
仕様書	3	4. 業務内容 (6) 成果創出の提案・実施	(6) 成果創出の提案・実施に関して、福岡市スタートアップエコシステムの提供価値の明確化・共有・発信」とありますが、「発信」とは対外的なイベントの実施やメディア露出など、具体的なお考えはお持ちでしょうか。	「発信」の具体的な手法について定めはありません。イベント、広報、情報発信施策その他の方法を含め、本業務の目的達成に資する効果的な手法について提案者の創意工夫による提案を求めます。
仕様書	3	4. 業務内容 (6) 成果創出の提案・実施	(6) 成果創出の提案・実施に関して、成果の定義に「エコシステムの価値認識の共有が図られる状態」とありますが、具体的にどのような状態を想定しておりますでしょうか。	「エコシステムの価値認識の共有が図られる状態」については、本業務の目的及び仕様書に記載する内容を踏まえ、支援拠点間において福岡市スタートアップエコシステムの提供価値や目指す方向性が共有され、連携促進につながる状態を想定しています。具体的な到達イメージやその実現に向けた手法、成果の考え方については、提案者からの提案を求めます。
仕様書	3	4. 業務内容 (6) 成果創出の提案・実施	仕様書で「成果は、単なる成果物の作成に留まらず、支援拠点間における連携の促進及びエコシステムの価値認識の共有が図られる状態の創出を含む」と記載されていますが、『連携の促進』『価値認識の共有』の具体的な評価指標・成功基準をお教えください。	市として現時点で具体的な評価指標や成功基準は設定していません。募集要項に記載のとおり、本業務の成果目標及びその達成手法について、提案者からの提案を求めます。

仕様書	3	4. 業務内容 (6)成果創出の提案・実施	仕様書(4 業務内容)で求められる成果物(現状調査報告書、提供価値の整理、共通ビジョン、連携施策案、発信戦略など)について、想定される形式(報告書、プレゼン資料、戦略書、ガイドライン等)、ページ数、提出部数をお教えてください。	成果物の形式、ページ数、提出部数について、現時点で指定はありません。本業務の目的及び仕様書の内容を踏まえ、成果を効果的に整理・共有できる形式について提案してください。詳細は契約締結後に協議のうえ決定します。
仕様書	3	4. 業務内容 (6)成果創出の提案・実施	本業務の成功を測るKPI(例:支援拠点の連携数、起業家の認知度、投資家の関心度など)と、契約期間内(8ヶ月)に達成すべき目標値があれば教えてください。	市として現時点で具体的なKPIや目標値は設定していません。仕様書に記載のとおり、本業務の成果目標及びその達成手法について、提案者からの提案を求めます。
仕様書	3	4. 業務内容 (6)成果創出の提案・実施	仕様書で「ターゲット(起業家、投資家、事業会社、他都市の関係者等)に対して最も効果的と考えられる手段・方策について、自ら提案し実施すること」とありますが、発信の効果測定方法(アクセス数、問い合わせ数、メディア掲載数など)と、目標値をお教えてください。	市として現時点で具体的なKPIや目標値は設定していません。仕様書に記載のとおり、本業務の成果目標及びその達成手法について、提案者からの提案を求めます。
仕様書	2～3	4. 業務内容	福岡市が過去に実施したスタートアップエコシステムに関する調査報告書、支援拠点の実績データ、起業家アンケート結果などがあれば、提案作成の参考資料として提供していただけますか？	本業務と同様の目的・内容による調査等は今回が初めてであるため、参考資料として提供できる調査報告書等はありません。なお、契約締結後、業務遂行上必要と認められる場合には、福岡市が保有する関連資料やデータについて、提供可能な範囲で情報提供を行うことがあります。
仕様書	2～3	4. 業務内容	福岡市が過去に実施した類似の調査・戦略策定業務(エコシステム構築、産業振興戦略など)があれば、その実績報告書や成果物をご参考までに提供していただけますか？	本業務と同様の目的・内容による調査等は今回が初めてであるため、参考資料として提供できる調査報告書等はありません。なお、契約締結後、業務遂行上必要と認められる場合には、福岡市が保有する関連資料やデータについて、提供可能な範囲で情報提供を行うことがあります。
仕様書	2～3	4. 業務内容	本業務の遂行にあたり、貴市が保有する既存の調査資料・データ(支援拠点の利用実績、スタートアップカフェの相談実績、スタートアップ・エコシステム拠点都市関連の報告資料等)の貸与又は閲覧は可能でしょうか。	福岡市又はFukuoka Growth Nextが保有する資料・データについては、契約締結後、本業務の遂行上必要と認められる場合には、提供可能な範囲で情報提供を行うことがあります。ただし、提案にあたっては、それらの資料の提供を前提とせず、本業務を遂行する手法を提案してください。なお、支援拠点が個別に保有する実績データ等については、必要に応じて各支援拠点へご確認ください。
仕様書	3	6. 委託上限額	上限額20,000千円について、調査・分析、戦略策定、発信実施などの項目別の予算配分の想定や、人件費・外注費・その他経費の配分比率についての指針をお教えてください。	予算配分について特段の指定はありません。委託上限額の範囲内で、本業務の目的達成に資すると考える実施内容及び予算配分を提案してください。
仕様書	3	7.その他特記事項	仕様書(7その他特記事項の8、9)で「成果は福岡市に帰属する」「著作権は福岡市に帰属する」と記載されていますが、提案者が過去に開発したフレームワーク・ツール・テンプレートを活用する場合、その扱いはどうなるのか、また福岡市が成果物を外部に公開・販売する場合の取扱いをお教えてください。	成果物及び本業務により作成した成果に係る権利については仕様書に記載のとおり、福岡市に帰属し、市が外部への公開、編集、加工及び二次利用等を行う場合があります。一方、受託者が契約締結前から保有するフレームワーク、ツール、テンプレート等の知的財産権は、原則として受託者に留保することを想定しています。従前から保有する知的財産や第三者が権利を有する素材を使用する場合は、提案書等においてその旨及び利用条件を明示してください。市による公開、二次利用又は販売等に必要なら利用許諾の範囲については、契約条件に基づき整理します。
仕様書	3	7.その他特記事項	仕様書で「福岡市と十分協議しながら行うこと」とありますが、想定される協議の頻度(週1回、月1回など)、参加者(創業課のみか、他部署も含むか)、意思決定プロセスをお教えてください。	現時点で具体的な回数や体制は定めていません。業務の進捗に応じて、定期的な打合せに加え、必要に応じて随時協議を実施することを想定しています。参加者については、主に本業務の担当部署が参加する予定ですが、協議内容に応じて関係部署等が参加する場合があります。なお、業務の進め方については、受託者からの提案や協議内容を踏まえ、福岡市と受託者が協議の上、決定します。

仕様書	3	7.その他特記事項	仕様書で「業務の主たる部分の再委託はできない」とありますが、『主たる部分』の定義(例:調査・分析は自社で実施し、デザイン・印刷は外注可など)をお教えてください。	業務の中核をなす企画、調査、分析、戦略立案等については受託者自らが実施することを想定しています。再委託を予定している場合は、事前に市へご相談ください。
仕様書	3	7.その他特記事項	仕様書で「本業務仕様書の一部変更・修正を行うことができる」とありますが、変更の範囲・手続き・追加費用の扱いをお教えてください。	仕様書の変更・修正については、業務の目的達成のために必要と認められる場合に、福岡市と受託者が協議のうえ決定します。なお、変更内容については委託上限額の範囲内で対応することを基本としており、追加の予算措置を予定しているものではありません。
仕様書	3	7.その他特記事項	仕様書で「不測の事態に備え、緊急時の体制を整備すること」とありますが、想定される「不測の事態」(例:自然災害、感染症、主要メンバーの離職など)と、その場合の対応方法・契約変更の手続きをお教えてください。	「不測の事態」とは、自然災害や感染症の流行、交通・通信障害、情報セキュリティ事故、業務に使用するシステムの障害、主要従事者の急病・長期不在その他業務遂行に重大な影響を及ぼす事態を想定しています。 提案者は、緊急連絡体制、代替要員の確保、データのバックアップ、情報セキュリティ事故への対応等、業務を継続又は早期に復旧するための体制及び対応方法を提案してください。 その場合の対応や契約内容の変更については、発生原因及び具体的な影響等を踏まえ、双方で協議のうえ決定します。